

新しい 学校の風

■校章デザイン決定!

嵐山町立武蔵嵐山小学校・武蔵嵐山中学校の校章デザインが、全国から応募のあった132案の中から、町民等アンケートの結果を基にした厳正なる審査及び検討の結果、金田 椋(かねだ・もみじ)さん(滑川町在住)の図案に決まりました。※本校章は基本デザインであり、今後、使用場面に応じて細部の調整が行われる場合があります。

嵐山町立武蔵嵐山小学校



嵐山町立武蔵嵐山中学校



【デザイン制作者】金田 椋(かねだ・もみじ) さん(滑川町在住)

「オオムラサキ」を中心に据え、町を象徴する自然と未来へ羽ばたく子どもたちの姿を重ね合わせた校章です。オオムラサキの翼は、伸びやかさと成長を表す曲線で構成し、中央に最も視線が集まるよう配置しています。下部モチーフは学校ごとに変え、中学校では比企丘陵のなだらかな山並みを、小学校では町を流れる槻川を表し、地域に根ざす学びを表現しました。外形は中学校を六角形、小学校を円形とし、それぞれ「規律と調和」、「調和とつながり」を象徴しています。色は中学校を紺、小学校を緑とし、共通して金をアクセントに使用することで、品格と統一感を持たせました。